

行政機関等における施策の推進状況

行政機関	事業名	事業の趣旨・目的	事業内容	事業実施主体	交付(補助)率	実施期間	平成20年度予算額
農林水産省	にっぽん食育推進事業 「教育ファーム推進事業」	市町村、教育関係者、農林漁業者等が連携して教育ファームに取り組むモデル事業の実施により、自然の恩恵への感謝の念や「食」に関わる人々の活動への理解を深める	教育ファームのモデル的な取組の実施及び検証	民間団体等	定額(1/2以内)	平成20年度(単年度)	1,112百万円
農林水産省	広域連携共生・対流等対策交付金 (広域連携支援事業) 「子ども農山漁村交流プロジェクト 受入モデル地域の体制整備」	子ども農山漁村交流プロジェクトなど都市と農山漁村の共生・対流の推進を図ることを目的として、先導的取組を国が直接支援することにより、農村の活性化等に資する。	平成20年度より、総務省、文部科学省との連携により、小学生1学年規模の長期の宿泊体験を推進する「子ども農山漁村交流プロジェクト」を実施する。 これを踏まえ、小学生1年規模を受け入れ可能な地域を、受入モデル地域として、その地域ぐるみの体制整備や受入計画の作成、実践に係る経費について支援する。(ソフト)	民間団体(協議会等)	定額	平成20年度より 原則3年以内(受入モデル地域の体制整備については、原則2年以内)	広域連携共生・対流等対策交付金 973百万円の内数
農林水産省	農山漁村活性化プロジェクト支援 交付金	農山漁村における定住や二地域居住、都市との地域間交流を促進し農山漁村の活性化を図る。	【農業体験等の取組に関連する事業の内容】 都道府県又は市町村が創意工夫を活かし、地域住民の合意形成を基礎として作成する活性化計画に基づく取組を総合的かつ機動的に支援する。 市民農園の区画・園路、滞在施設、多目的施設(休憩所、更衣室等)、農機具収納施設、コミュニティー広場、福祉活用促進施設、体験学習農園、オーナー性農園、農作物の収穫等の農作業、間伐等の森林作業、地引き網等の漁業作業等農林漁業の体験、農林漁業技術の伝承等のために必要な体験施設、体験農園等の整備及びこれらの附帯施設の整備を行う。(ハード)	都道府県、市町村、農業協同組合、農業協同組合連合会、森林組合、森林組合連合会、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、土地改良区、農地保有合理化法人、公益法人、農林漁業者等の組織する団体、地方公共団体等が出資する法人、PFI事業者等	定額1/2 (条件により 1/3 5.5/10 2/3)	平成20年度より 原則3年以内(活性化計画の期間内)	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 30,400百万円
農林水産省	農業再チャレンジ支援事業	団塊世代、若者等が経験がなくても農業に就けるよう情報提供・相談段階、体験・研修段階、参入準備段階、定着段階に対応した、きめ細やか支援を行う。	(抜粋) 体験・研修段階 原体験としての小中学生の農業体験学習、農業法人での社会人を対象としたインターンシップを実施する。	民間団体等	定額 1/2・1/3	平成19～23年度	585,617千円
農林水産省	中山間地域等直接支払交付金	耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、多面的機能の維持・増進を一層図るため、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組等に対する支援を行う。	(多面的機能増進活動) ・棚田オーナー制度 ・市民農園等の開設・運営 ・体験民宿(グリーン・ツーリズム) (農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項) ・保健休養機能を活かした都市住民等との交流 ・自然生態系の保全に関する学校教育等との連携のうち、体験農園	市町村	定額	平成17～21年度	21,800百万円
農林水産省	農地・水・環境保全向上対策	将来にわたって農業・農村の基盤を支えるとともに、環境の向上に資するため、農地・水・環境の良好な保全とその質の向上を図る。	農地・水・環境保全向上対策は、地域振興に資するものであり、農作業体験そのものを支援する事業ではないが、「教育ファーム」に関連する次の活動を実践することができる。 ・地域住民等との交流活動 農村の生態系や景観等の環境及び農用地・農業用水の保全活動への関心を持っていただくため、農村環境に関わる体験学習や観察会等を実施。 ・学校教育との連携 農村環境向上活動を啓発する一つとして、田植えや稲刈り等の農作業を通じた農用地・農業用水等の働きや重要性を子供たちに教える。 ・伝統的施設や農法の保全・実施 美しい農村景観を形成・維持する活動の一つとして、はさ掛け等の伝統農法の実践を通じた農村特有の景観形成を図る。	地域協議会	共同活動の対象となる農振農用地面積に対し 水田 4,400円/10a (国1/2、地方自治体1/2) 畑 2,800円/10a (" ") 草地 400円/10a (" ")	平成19～23年度	3,385百万円

行政機関等における施策の推進状況

行政機関	事業名	事業の趣旨・目的	事業内容	事業実施主体	交付(補助)率	実施期間	平成20年度予算額
新潟県	子どもたちの体験学習受入体制整備推進事業	地域資源の活用による農山漁村地域の活性化を図るため、修学旅行等の子どもたちを受け入れるための体制づくりや条件整備を行い、グリーン・ツーリズムの新たな受入地域づくりを推進する。	修学旅行等の受入を通じて、地域ぐるみの受入体制づくりを推進するための取組を支援。(受入地域が行う宣伝、販売活動、受入カリキュラムの策定、体験活動に必要な器具・器材等の整備)	市町村、第三セクター、グリーン・ツーリズム実践者等が組織する協議会	1/2	平成19～20年度	1,600千円
	農と教育の連携による農山漁村交流支援事業	平成20年度からスタートする国の「子ども農山漁村交流プロジェクト」に対応し、学校側のニーズに即した受入体制づくりや学校側への情報発信活動に対する支援を通じて、県内外の小中学校の誘致を積極的に推進する。	県推進協議会の設置による関係市町村や団体との一体的推進 県内外小学校等への情報発信の強化やプロモーション活動の展開 長期滞在への対応など学校側ニーズに即した受入地域づくり	県、県農林公社		H20～22年度	3,500千円
	大地の子 (農業大学校研修課程強化事業)	土や作物、家畜を見て、触れて、体を動かす農業体験は、食料、環境、生命等に対する子供達の正しい理解を進め、生きる力を育む。 そこで、大学校の施設を活かしてその機会を提供し、子供達の健全な成長を支援すると共に、農業理解を促進する。	農業体験 (じゃがいも定植、日本なしの花つぼみ選り、牛のえさやり、落花生種まき等)	新潟県		平成17年度 ～平成22年度	411千円
富山県	元気とふれあいの学校給食事業 (県単)	推進組織による「地場産食材を活用した特別給食」や「生産者等と児童生徒との交流活動」を実施し、学校給食での地場産野菜等の活用の定着と地元食材に対する知識・理解を図るもの。	推進組織の設置、運営 地場産野菜、果実等を使用した特別給食の実施拡大 かかり増し経費に対し支援 生産者等と児童・生徒との交流活動の実施 食の匠や生産者を給食現場に招聘、伝統料理や野菜・果実の栽培方法などを紹介(農業体験も可)	市町村	1/2	原則1市町村3ヵ年継続	7,200千円
	食の体験推進事業	平成18年8月に策定した「とやま食育推進計画」に基づき、地域において子供と地域住民が一緒に、食材を通じた体験を実施することにより、食育の推進を図るもの。	市町村が実施する「とやま食材ふれあい講座」の開催を支援 農林水産物の作業体験 農林水産物の加工体験 とやま食材の調理体験、など 地域の特色を活かした活動を支援	市町村	1/2以内	単年度(継続可)	1,500千円
石川県	いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業	農業や農作物への理解促進と環境に対する豊かな感性を持つ子どもを育てていくために、田んぼ、水路、ため池などを遊びと学びの場とし、農業・農山村が持つ多面的な機能を活用した体験型の環境教育を実施する。	指導者養成研修・学校教員等を対象とした農作業指導者の育成研修 米づくり体験・・・小学生を対象とした田植え、草刈、稲刈り等の作業体験 農業農村体験・・・小学生を対象とした野菜・果樹等の栽培体験、ビオトープ造成・生物調査	指導者養成研修・県米づくり体験・・・JA中央会 農業農村体験・・・市町	指導者養成研修・・・1/1 米づくり体験・・・1/2 農業農村体験・・・1/2	平成12年度～	指導者養成研修 183千円 米づくり体験 2,900千円 農業農村体験 500千円 合 計 3,583千円
福井県	農業体験学習推進事業	農林水産業への理解促進を図るとともに、子どもたちに「食」と「農」の体験を通じて、生命、食べ物の大切さを学ぶ機会を提供するため、平成15年度より「総合的な学習の時間」を活用して農業体験学習を促進。	教育ファーム推進計画の策定及び教育ファームの優良事例の情報提供等の促進	福井県農業協同組合中央会 各農業協同組合	定額(1/3以内)	平成20年度(単年度)	900千円

行政機関等における施策の推進状況

行政機関	事業名	事業の趣旨・目的	事業内容	事業実施主体	交付(補助)率	実施期間	平成20年度予算額	
新潟市	親子米づくりチャレンジ教室	子どもたちへの食農教育の観点から、食料・農業・農村に関する学習や農作業体験など、農業に対する理解を深める機会や場の提供が必要となっており、小学生とその保護者を対象に、田植えから稲刈りまでの米づくりを通して、本市の農業に対する理解の促進を図る。	田植え(5月)・稲の観察(8月)・収穫(9月)の3回の作業を体験する。	新潟市農業協同組合(事業委託先)		平成20年 4月18日～10月3日	300千円 (委託料)	
	大豆栽培・加工体験会	消費者と生産現場との距離が離れ、農業の役割や重要性を認識体験できる場が少なくなっていることから、大豆の種まきから、栽培管理、収穫、味噌仕込みまでの全5回の体験を通し、消費者は生産現場の苦勞を理解し、生産者は消費者の考え方を理解するなど、農業者と消費者の相互理解の促進を図る。	農業や化学肥料を極力減らした環境にやさしい栽培方法により、大豆の種まき、栽培管理(草取り・防除)、収穫、味噌仕込みまでの作業(全5回)を体験する。	(株)亀田郷農産物直売所(事業委託先)		平成20年4月25日 ～平成21年1月31日	284千円 (委託料)	
	食と農の学校 週末農業体験教室	都市生活者と農業者の交流を図り、ゆとりある生活を楽しむ場を提供するとともに、都市生活者などの農業・農村への理解を深める。	定植・収穫などの農業体験(草取り・土づくりなどの管理作業を含む)、栽培に関する講座、加工体験を行う。(全8回)	新潟市(食と花の推進課・秋葉区産業振興課) (協力:花とみどりのシンボルゾーン管理組合)		平成20年5月～11月	82千円	
	学校教育田設置事業	田植え・稲刈り及び収穫祭等、農作業体験を通じて、米の消費拡大と次世代を担う子どもたちに農業及び米に対する理解を深めてもらうとともに、米を中心とした日本型食生活の普及および定着化を図る。	田植えから収穫までの作業を体験し、さらに収穫された米を給食や収穫祭等で味わう。	新潟市内の農業協同組合 (JA新潟市, JA豊栄, JA新潟みらい, JA新津さつき, JA越後中央)	圃場1aあたり210千円の補助を行う。	平成20年4月～12月 実施期間は事業実施校によって異なる。	8,000千円	
上越市	都市・農村交流促進事業	豊かな自然資源や美しい山里の景観と伝統文化を活用し、都市住民の多様なニーズに対応した農業体験と交流を通じて、地域農産物の生産拡大や有利販売を促進するとともに農村地域の活性化を図る。	グリーンツーリズムの推進 棚田オーナー、市民農園等の運営	上越市			都市・農村交流促進事業 大島区都市・農村交流促進事業 牧区都市・農村交流促進事業 三和区都市・農村交流促進事業	都市・農村交流促進事業 900千円 大島区都市・農村交流促進事業 1,285千円 牧区都市・農村交流促進事業 24千円 三和区都市・農村交流促進事業 90千円
			安全な食料・農産物の物流、環境保全型農業の推進、都市農村の交流等				・構成5団体 東京マイコープ、バルシステム生活協同組合連合会、えちご上越農業協同組合、 (株)よしかわ杜氏の郷、上越市	食料と農業に関する基本協定 61千円
入善町	すこやか食育事業「入善っ子食育教室 ～野菜の栽培体験授業～」	農業体験を通して、食への感謝の気持ちや思いやりの心を育み、食への理解を深めることを目的として実施。収穫した野菜は学級活動・給食等にも活用する。	・学校、保育所での農業体験学習の実施 ・児童生徒が、JAや農家・生産者などの指導を受けながら、トマト、きゅうり、ずいか、なす、パプリカ、さつま芋、枝豆、大豆、人参、ねぎ等を栽培し、育て、収穫する。	入善町		平成19年度～平成21年度(予定)	野菜の栽培体験授業消耗品費として 100千円	

行政機関等における施策の推進状況

行政機関	事業名	事業の趣旨・目的	事業内容	事業実施主体	交付(補助)率	実施期間	平成20年度予算額
小浜市	教育ファーム推進事業 御食国若狭おばま食の教育推進事業	学校における食の教育の一環として、生産者をゲストティーチャーとして招待し、児童生徒に農林漁業体験の機会を提供し、子どもたちの農林漁業や食への理解の促進、生産者との交流を深める。	地域の農業生産者等との連携による小学生の農業体験(田植えから稲刈りまでの米作りと野菜作り)	小浜市		平成20年度(単年度)	教育ファーム推進事業 70千円 御食国若狭おばま食の教育推進事業 800千円

管内の実施状況
<p>北陸管内14地域 新潟県:10地域(6団体) 富山県:1地域(1団体) 石川県:1地域(1団体) 福井県:2地域(2団体)</p>
<p>【子ども農山漁村交流プロジェクト受入モデル地域の体制整備】 新潟県:3地区 (上越・十日町市、妙高市、佐渡市) 富山県:1地区(南砺市) 石川県:1地区(輪島・珠洲市・能登町・穴水町) 福井県:2地区(美浜町、若狭町)</p>
<p>北陸管内1地区(富山県) ・富山県池多地区(富山市)</p> <p>「とやま古洞の森自然活用村(既存施設)」を交流拠点として、さらなる交流人口の増加を目標に、その周辺に市民農園や交流学習施設(交流館、生活館、里山観察塔)を整備。(H20年度)</p>
<p>北陸管内164集落協定 新潟県114集落協定 富山県 20集落協定 石川県 8集落協定 福井県 22集落協定</p>
<p>北陸管内の活動組織数2,140地区 新潟:838地区 富山:546地区 石川:178地区 福井:578地区</p> <p>「学校教育との連携」を行った活動は延べ165回実施しており、教育ファームの一役を担い得る活動を実施している。 (ただし、農作業に係る体験学習をしたのか、それ以外の活動なのか等の詳細までは把握していない。)</p>

管内の実施状況
H20計画認定済み:1市(H19実施済み:3地区)
県農林公社に委託
新潟:1地域(農大で実施)、11月までの予約軒数33 (幼稚園、小中学校)
平成20年度は、14市町村で実施予定。 平成19年度の「特別給食」は214校で(各校平均8.8回)で実施された。交流活動では、食材等に関する授業のほか、一部の学校では農業体験にも取り組まれた。
平成20年度は9市町村が取り組んでいる。 平成19年度では、農作業体験と農産物加工体験を組み合わせた取り組みや、様々な地域食材に関する体験講座を年間通じて実施する取り組みなど、地域で特徴的な取り組みがなされた。(園児・小中学生、保護者、地域住民の合計3,188人)
現在までの事業実施小学校 148校 (県内全体233校) 平成20年度実施小学校 40校
33団体(予定)

管内の実施状況
<p>本事業は平成11年度より実施しており、今年度で10回目。参加者数も増加傾向にあり、今年度の参加者募集では、40組120人のところ66組206人の応募があった。</p>
<p>本事業は平成16年度より実施しており、今年度で5回目。例年、25組を募集している。</p>
<p>本事業は平成20年度から実施。定員は20人</p>
<p>本事業は平成5年度より実施している。事業参加校も徐々に増えており、今年度は58校(小学校56校,中学校2校)が取り組んでいる。</p>
<p>都市・農村交流促進事業 中山間地域2地域 大島区 牧区 三和区</p>
<p>(町内小中学校9校、保育所13箇所) 平成19年度...町内3小中学校、5保育所 平成20年度...町内3小中学校、4保育所 平成21年度...町内3小中学校、3保育所(予定)</p>

管内の実施状況

小浜市内の小学校 13校
" 中学校 2校